

横浜市立岸谷小学校

令和2年度 「豊かな心の育成」 推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	教育課程全体で 育成を目指す 資質・能力
<p>学校教育目標実現のために、〔希望〕〔幸福〕〔他愛〕あふれる、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもが、主体的に課題を解決する学びを大切にし、授業力の向上に取り組みます。</li> <li>一人ひとりの子どもに寄り添い、互いを認め合う豊かな心や、たくましく健やかな体を育むように努めます。</li> <li>一人ひとりの子どもの学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。</li> <li>一人ひとりの子どもが、地域行事や地域との交流活動等を通して、まちに貢献する心を育みます。</li> <li>近隣の幼保小中高大学連携を進め、教育活動の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語能力</li> <li>○問題発見・解決能力</li> <li>○自分づくりに関する力</li> </ul>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

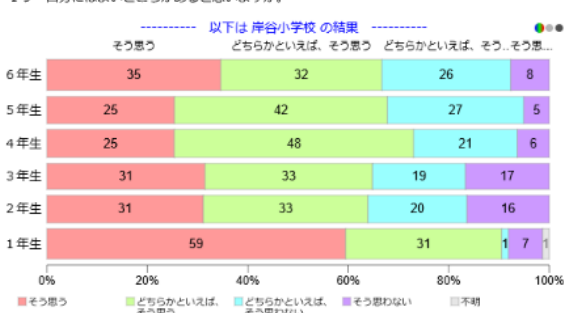
重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	道徳の時間のより一層の充実を図り、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にする心情や態度、自己肯定感を育みます。	道徳指導の目標と年間指導計画の見直しを行います。教科書で扱われている資料の内容・価値について教材研究を深め、児童の実態に合わせて適切に指導ができるようにします。人権月間では学年・クラスの実態に応じて取り組みを行い、児童の自他を大切にする心情や態度を養うよう努めます。授業参観では道徳の授業を年1回以上の公開とし、学校での取り組みを保護者と共有し、連携強化を図ります。
担当	人権教育 道徳	

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

令和元年度実施の横浜市学力・学習状況調査生活意識調査結果より、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問項目に対して、肯定的な回答をする児童の割合が少ない。また、学年が上がるにつれて自尊感情が低くなる傾向が見られる。これらの結果は横浜市平均と比べて低い結果となっている。

自己肯定感や規範意識は、多様な他者との積極的な関わりや、豊かな体験を通して高まるものであると言われている。学習活動や学校生活の中で、友達と協働的に活動を進めていく経験や、その過程において自己有用感を味わう経験が不足していることが今回の結果の一因と考えられる。

19 自分にはよいところがあると思いますか。



3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「特別な教科 道徳」の充実

年間指導計画を作成し、道徳教育の要となる「特別な教科 道徳」の指導を通して、自己を深く見つけ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにする。

- ・全学級の道徳授業公開（授業参観）を年1回以上実施する。
- ・学校日より、ホームページ等を通じて、道徳教育の取り組みを家庭・地域に発信する。
- ・道徳教育についての職員研修を行う。

指針2 協働的な体験活動の充実

- ・高学年児童（委員会活動）を中心に、あいさつ運動や各種募金活動に取り組む。
- ・地域行事を知り、積極的に参加する。
- ・グループ活動など、協働的に取り組む活動の機会を積極的に設ける。
- ・総合の学習を中心に、自分づくりにかかわる学習を取り入れる。